

2022年3月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

「GXリーグ基本構想」への賛同について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、経済産業省が公表した「GX(グリーントランスフォーメーション)リーグ(※1)基本構想」への賛同を表明しました。

GXリーグ参画企業には、世界全体でのカーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス排出量削減における高い目標を掲げながら、カーボンニュートラルにいち早く移行するための取り組み及び幅広いステークホルダーと協働し、炭素中立型の市場設計を先導する役割が求められます。

当社を中核子会社とする三井住友トラスト・グループ(以下「当グループ」)は、カーボンニュートラル宣言を公表し、GHG 排出量について、自社グループでは 2030 年までに、また投融資ポートフォリオでは 2050 年までにネットゼロを目指す方針を掲げております。

また、当社では、カーボンクレジット市場拡大の動向や情報を把握することで取引先企業へのクレジット提供等に活かしていくことを企図し、ボランタリーカーボンクレジット市場拡大に関するタスクフォース(TSVCM)(※2)に参加しております。

このような当グループの気候変動に関する取り組みは「GXリーグ基本構想」の趣旨とも合致していると考え、今般の賛同表明に至りました。

当グループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパス(存在意義)と定義し、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を経営の根幹に掲げております。

社会の脱炭素化に向けて、投融資機能のみならず、信託銀行グループらしい資産運用・資産管理ビジネスを通じ新たな市場・新たな投資機会を創出する「信託型金融仲介モデル」を推し進めることで、引き続きサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

以上

(※1)GXリーグ

GXに積極的に取り組む「企業群」が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーと共に、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場。

(※2)ボランタリーカーボンクレジット市場拡大に関するタスクフォース(TSVCM)

国連の気候変動対策・金融特使である Mark Carney 氏が主導、国際金融協会(IIF)がスポンサーとなり設立された、効果的かつ効率的なボランタリーカーボンクレジット市場の拡大に向けたグローバルなルール整備を目指す民間主導のタスクフォース。カーボンクレジットの買い手と売り手、基準設定者、金融機関、市場インフラ提供者、市民社会、国際機関、学識経験者など 250 以上の企業や団体が参加。